

平成21年 2月

# 井上和興 学位論文審査要旨

主 査 重 政 千 秋  
副主査 岸 本 拓 治  
同 黒 澤 洋 一

## 主論文

日本人の地域住民における耐糖能障害のスクリーニングのための適切な抽出指標の検討

(著者：井上和興、大倉毅、松澤和彦、木下博司、馬場裕生、谷口晋一、武地幹夫、  
尾崎米厚、岸本拓治)

平成21年 米子医学雑誌 掲載予定

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は住民基本健診結果に基づき、簡易に耐糖能異常の患者を抽出する方法を検討したものである。その結果、TG 150 mg/dl以上は有意にリスクとなったが、腹囲基準に関してはリスクとなっていなかった。また、そのほかの指標として、HbA1c 5.3%、BMI 25 kg/m<sup>2</sup>以上、高血圧治療歴、腹囲異常などが重複する場合にはOGTTを推奨すべきと考えられた。本論文の内容は、住民基本健診で実施している一般的検査項目で、簡易に耐糖能異常を抽出しうる可能性を示唆するもので、糖尿病疫学の領域において明らかに学術の水準を高めたものと認める。